

<< Sustainable Development Goals >>

Z世代に学べ！ あれもこれも SDGs

「国際社会が抱える問題に取り組もう」というSDGsの概念に、「壮大すぎて実感できない…」と尻込みしてしまう人もいるかもしれません。そんな大人たちをよそに、SDGsに高い関心を持っているのがZ世代。と呼ばれる今時の若者。学校で環境問題や経済格差、ジェンダーなどについて学び、普段からSNSで多様な意見に接しているため、自然と知識が身に付いているのです。

北奥羽地域では、八戸学院大学地域経営学科が「持続可能なまちづくりの応援」をコンセプトに掲げ、地元高校での出前授業や教員の支援などを行っています。同学科が3月12日に八戸市内で開いた「第3回八戸SDGsフォーラム」で、高校生・大学生が発表した研究やアイデアを紹介します。

※Z世代…1990年半ば～2010年代生まれの世代。

SDGs Forum / IDEA 04

八戸学院大 高須ゼミ



トランスジェンダーの人が使いやすいトイレが普及してほしい

5 ジェンダー平等を推進しよう

心と体の性が一致しないトランスジェンダーの人は、周囲の目が気になり、公衆トイレの利用に困難を抱えています。多目的トイレが解決の一助になると考え、八戸市内で設置状況を調査。主な公共施設や中学校、高校は大半が設置しているものの、主に体の不自由な人たちを想定している印象でした。「誰でも」「どなたでも」など、気軽に使用できる表記が普及してほしいです。